損保ジャパン記念財団 NEWs

SOMPO JAPAN FOUNDATION

●公益財団法人になりました
●東日本大震災の被災地支援
●2011年度社会福祉事業の概要
●2010年度活動報告（下期）
・NPO基盤強化資金助成　贈呈式の開催
・自動車購入費助成　贈呈式の開催
・初めて海外助成を実施
・第12回損保ジャパン記念財団賞決定

発行者
公益財団法人損保ジャパン記念財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル　TEL：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257
http://www.sj-foundation.org/　Eメール：sjf3340@sj-foundation.org

2011 Vol. 1

公益財団法人になりました

2011年６月22日に内閣総理大臣より公益財団法人としての認定を受け、７月１日に公益財団法人損保ジャパン記念財団となりました。今後とも福祉及び文化の向上に貢献すべく、公益の名に相応しい活動を進めて参ります。

東日本大震災の被災地支援として地域災害等緊急対策助成を実施

このたびの東日本大震災で被災された方々に、心からお見舞申し上げます。
損保ジャパン記念財団は、被災者の方々の支援を目的に、岩手・宮城・福島を中心に障害者・高齢者への福祉活動を行う３団体に合計460万円の「地域災害等緊急対策助成」を実施しました。今後も、障害者・高齢者への福祉活動を行う団体等への助成を通じて、被災者の方々の支援を続けていきます。

【地域災害等緊急助成　助成先】

助成先	助成の内容	金　額
きょうされん	障害者が豊かな生活を送るための支援・施策提言等を行っている団体。岩手県・宮城県・福島県を中心とした、障害者支援を行うための緊急活動費を助成。	100万円
JDF （日本障害フォーラム）	障害者の権利を推進する活動等を行っている団体。宮城県・福島県に設置した支援センターにおける障害者が必要とする物資の搬送や介助者派遣などの活動費を助成。	160万円
ソーシャルケアサービス 従事者研究協議会	社会福祉サービス従事者の育成などについて総合的に協議・研究している団体。社会福祉専門職として被災地の障害者支援を行うための活動費を助成。	200万円



日本障害フォーラム（JDF）みやぎ支援センター（宮城県仙台市）



日本障害フォーラム（JDF）支援センターふくしま（福島県郡山市）

2011年度の事業計画
～被災地を支援する助成を実施します～

３月11日に発生した東日本大震災は広い地域に甚大な被害をもたらしました。当財団ではこの未曾有の災害により被災された、特に障害のある方の支援を行うため、通常の助成事業の時期・内容を変更し、2011年秋から以下のとおり被災地のNPOの活動を中心とした助成を実施することにしました。

2011年度の主な社会福祉事業（予定）

事業名 （募集時期／予算）	事業の内容	金額など
NPO法人設立資金助成 （10月～12月頃／400万円）	被災地で社会福祉系のNPO法人を設立する団体を対象に、各30万円の設立資金助成を行います。	対象地域：被災地 助成団体数：13
NPO復興資金助成 （10月～12月頃／1000万円）	被災地の障害者福祉系NPO団体を対象に、団体の復旧・復興に必要な資金の助成を行います。１団体の助成額の上限は100万円です。	対象地域：被災地 助成団体数：10
自動車購入費助成 （９～10月頃／1,200万円）	東日本地区の障害者福祉団体を中心に自動車購入費の助成をします。助成額は１団体100万円（ただし、被災地の団体で優先度の高い４団体については150万円）を限度とします。	対象地域：東日本地区 ※選考時、被災地からの申請を優先 助成団体数：10
地域災害等緊急対策助成 （随時／500万円）	主に、障害者福祉活動団体に対して、緊急対策助成を実施します。	対象：障害者福祉活動を行う団体

2010年度　活動報告（下期）
助成先を決定、各地で贈呈式を開催しました。

《NPO基盤強化資金助成》

2010年度「NPO基盤強化資金」として、全国の障害者・高齢者を対象とした福祉活動を行う13団体に、最大100万円、合計約1,000万円の助成をし、地区ごとに贈呈式を開催しました。

【NPO基盤強化資金助成　助成先】

都道府県	団体名	助成金額（万円）
北海道	特定非営利活動法人　双葉福祉会	100
青森県	特定非営利活動法人　SAN Net青森	80
山形県	特定非営利活動法人　一歩・一歩の会	45
福島県	特定非営利活動法人　ケアステーションゆうとぴあ	45
埼玉県	特定非営利活動法人　自立支援ホームとことこの家	100
千葉県	特定非営利活動法人　ウィズ柏	65.5
東京都	特定非営利活動法人　調布心身障害児者親の会	87

都道府県	団体名	助成金額（万円）
神奈川県	特定非営利活動法人　脳外傷友の会ナナ	85
愛知県	特定非営利活動法人　気分爽快	100
兵庫県	特定非営利活動法人　陽だまり	75
岡山県	特定非営利活動法人　じゃがいもの木	100
福岡県	特定非営利活動法人　あゆとも福祉会	24.5
佐賀県	特定非営利活動法人　やまと共同作業所	94.5



あゆとも福祉会（福岡）



首都圏地区贈呈式

《自動車購入費助成》

2010年度自動車購入費助成金として、障害者に対する福祉活動などを行う以下の10団体を対象に、１件100万円　合計１,000万円の助成を決定し、主に助成先で贈呈式を開催しました。



ひびき（千葉）

2010年度助成先

都道府県	団体名	助成金額（予定）
宮城県	特定非営利活動法人　輝らら会	100万円
山形県	特定非営利活動法人　福祉サポートセンター山形	100万円
群馬県	特定非営利活動法人　手をつなごう	100万円
千葉県	特定非営利活動法人　ひびき	100万円
千葉県	特定非営利活動法人　まごめざわ倶楽部	100万円
新潟県	社会福祉法人　とき福祉会	100万円
石川県	特定非営利活動法人　福寿草の郷	100万円
岐阜県	特定非営利活動法人　岐阜ダルク	100万円
静岡県	特定非営利活動法人　笠井共生活動センター	100万円
三重県	特定非営利活動法人　夢想会夢想工房	100万円

上毛新聞

沼田のNPOに車購入費を助成

損保ジャパン財団　100万円を贈る



上原支店長から目録を受け取る田中理事長

損保ジャパン記念財団（佐藤正敏理事長）は9日、沼田市のNPO法人手をつなごう（田中志子理事長）に自動車購入費助成金100万円を贈った。同NPOは、同市久屋原町の特別養護老人ホームくやはらの一角で、障害児と健常児が通う学童保育施設を運営。助成金を活用して購入した軽自動車は、子供たちの送迎に利用する。

同ホームで行われた贈呈式では、損保ジャパン群馬支店の上原一信支店長が田中理事長に目録を手渡し「社会福祉にますます貢献されることを期待します」とあいさつ。田中理事長は「引き続き地域と連携しながら社会貢献をしたい」と話した。

同財団は1977年に設立。自動車購入費助成は、障害者に対する福祉活動を行う団体を対象に99年度から実施している。



岐阜ダルク（岐阜）

《海外助成》

当財団が国内で実施している助成制度を発展させ、海外（特に開発途上にある国･地域）の社会福祉の向上を目的に、初めて「海外助成」を実施しました。
第１回の海外助成では、ASEAN加盟国で社会福祉を行う非営利団体の活動を対象に募集、２団体合計117万円の助成を決定し、現地で贈呈式を開催しました。

2010年度助成先

助成先	助成の内容	金　額
【ジャカルタ】 ワイパック・ジャカルタ YPAC-Jakarta (Yayasan Penanggulangan Anak Cacat)	通所している障害児・者のリハビリテーションプログラム「スピーチセラピー（言語聴覚療法）とオキュペーショナルセラピー（作業療法）」に使用する機器一式の購入費。機器の導入により、この施設でより効果的な訓練の実施が可能となりました。	50万円
【マニラ】 セントフランシス聾学校 St. Francis School-VSA arts Philippines, Inc	新生児の聴覚検査に使用する耳音響放射検査装置の購入費。早期の専門教育を受けることにより、聴覚障害のある子供の生涯にわたる生活向上を目指すプログラムの効果をあげることが期待されます。	67万円



フィリピン・マニラ

インドネシア・ジャカルタ



★お知らせ
叢書77号『「保険業法に関する研究会」報告書保険募集関連規制に関する検討』を発刊
保険業法に関する研究会（座長　山下友信氏：東京大学大学院法学政治学研究科教授）の報告書です。研究目的などに活用いただきたく、ご希望がございましたら損保ジャパン記念財団までご連絡ください。贈呈いたします。

第12回損保ジャパン記念財団賞決定

社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する平成22年度（第12回）の「損保ジャパン記念財団賞」受賞文献を以下のとおり決定しました。この賞が社会福祉学の学問的探求を目指される方々にとっての登竜門として研究意欲の促進につながり、わが国の社会福祉の発展に大きく寄与することを期待しています。過去の受賞者（要旨）を財団ホームページに公開していますので、是非ご覧ください。

◆著書部門：『社会福祉の利用者と人権ー利用関係の多様化と権利保障』
東洋大学社会学部社会福祉学科　教授　秋元　美世　氏

◆論文部門：該当なし



第12回　著書部門受賞者
秋元　美世氏

国連は、2001年の「ボランティア国際年（IYV）」から10周年の今年を「ボランティア国際年＋10（プラステン）」と名付け、ボランティア活動や市民活動の推進を再び世界中に呼びかけています。損保ジャパン記念財団は、IYV＋10に協力しています。

R20 古紙配合率20%再生紙を使用しています
VEGETABLE OIL INK
このNewsはユニバーサルフォントを使用しています。